



U-PARL

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門

UEHIRO
PROJECT
FOR THE
ASIAN
RESEARCH
LIBRARY

2018



ABOUT U-PARL

OUR AIM

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門 Uehiro Project for the Asian Research Library (U-PARL) は、上廣倫理財団の寄付を得て、2014年4月に附属図書館に設立された研究組織です。

東京大学では、いま、大規模な「新図書館計画」が進められ、総合図書館の拡充と刷新を目指すさまざまな試みが企図されています。「アジア研究図書館」構想もその一つです。これは、本学の各部署に分散する大量のアジア関係資料を総合図書館の一角に可能なかぎり集中配置し、加えて、学外からも貴重な資料を積極的に収集し、アジアを知り、アジアを考えるための研究図書館を設立することを目的とするものです。U-PARLは、この「アジア研究図書館」の構想と展開を、アジア研究の専門家の立場から担うことを目的としてたちあげられました。

U-PARLに所属する研究スタッフの対象地域は広く東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアにまたがっています。研究スタッフは、それぞれの研究領域の成果をふまえ、独自の視点から、収集、選書、寄贈資料の整理、資料のデジタル化、フロアプランの策定など、新しい図書館の実現に向けてのさまざまな業務を支援するかたわら、国内外の関係機関との研究交流にも力をそそぎ、アジア研究図書館という新たな知的基盤の構築をめざして、日々多くの課題—たとえば、21世紀にふさわしい「新しい図書館」とはいかなる機能をそなえるべきか、図書館と教育・研究との連携をいかに深化すべきか、知の蓄積と発信をいかに展開すべきかなどの課題—toに取組んでいます。

U-PARLは、新しいアジア研究と新しい図書館をつなぐハブの研究拠点の形成をめざして、さまざまな知的試みに果敢に取り組んでいく所存です。



兼務教員：菱輪顕量（部門長）、田辺明生、森本一夫／上原究一（副部門長）／特任准教授：永井正勝（副部門長）／特任助教：徳原靖浩／特任研究員：足立享祐、近藤隼人、澁谷由紀、清水康宏、坪井祐司、中尾道子／事務補佐員：小澤智子、吉川仁美

WHAT WE DO

U-PARLの活動は、「アジア研究図書館の構築支援」と「アジアおよび図書館に関する研究」、「その成果の発信、社会還元」からなっています

アジア研究図書館の構築支援

フロアと制度の検討

開架フロアプラン
分類・配架案
貴重書等各種資料の扱い
請求・貸し出し・閲覧システム

登録業務の整理と実践

多言語資料の整理・登録
多言語資料の登録の合理的仕組み作り
検索性の向上の検討

蔵書構築

新規購入
学内資料の適切な移管・整理・統合
寄贈資料の整理・研究と受け入れ

アジアおよび図書館に関する研究

アジア研究

多分野交流と他拠点との連携の重視

資料研究・デジタル化研究

デジタル化を含む
資料の研究と
共有の仕組みの検討

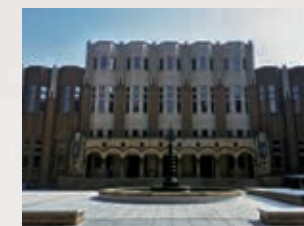
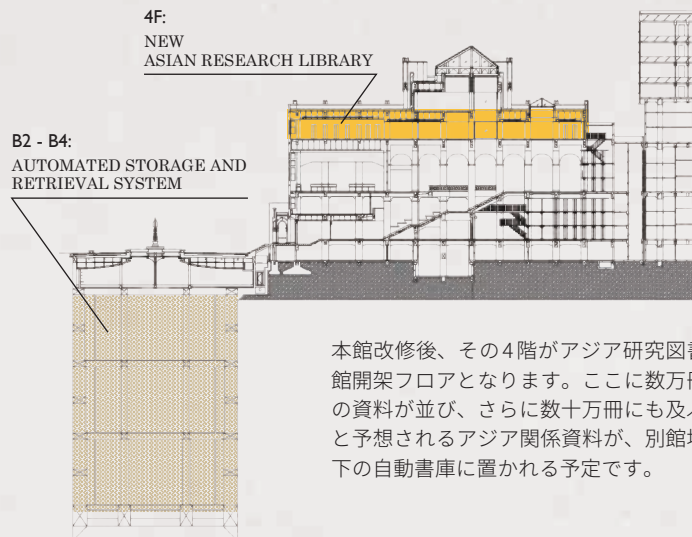
図書館研究

自動書庫に対応した
代替ブラウジング機能の検討

その成果の発信、社会還元

シンポジウム／ワークショップ
データベース公開／ウェブ上での研究情報の交換

WHERE WE WILL BE



改修の終了した本館正面部分（左図）と2017年に新規に完成した別館内のライブラリープラザ（右図）。本館は2020年度の完成を予定。

本館改修後、その4階がアジア研究図書館開架フロアとなります。ここに数万冊の資料が並び、さらに数十万冊にも及ぶと予想されるアジア関係資料が、別館地下の自動書庫に置かれる予定です。



CONNECTING ASIAN STUDIES WITH LIBRARY SCIENCE

〈アジアの知〉と〈図書館の知〉のリエゾンへ

蔵書とフロアをデザインする

図書館のあり方は日々変化していますが、その根幹はやはり所蔵する資料にあります。U-PARLでは、新規購入、寄贈資料の受入れ、学内の図書館・図書室の資料の統合の三方向から、アジア研究図書館の蔵書構築を推進しています。また、各方面の専門家と協働して、総合図書館本館4階にオープンするアジア研究図書館開架フロアのデザインや運用プランを検討しています。



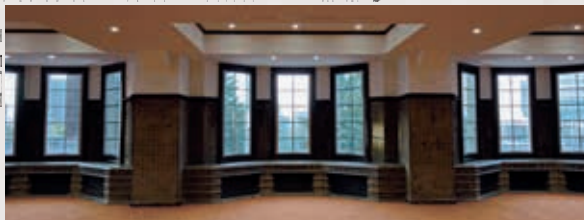
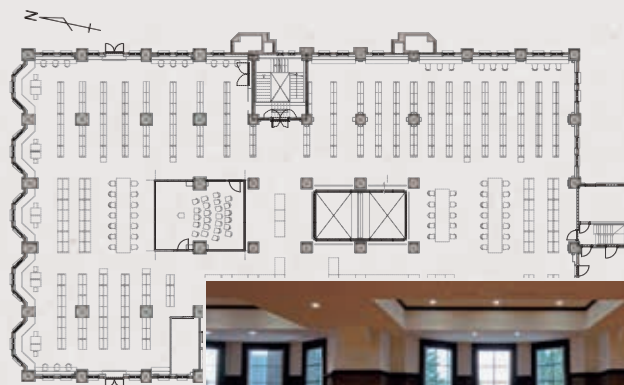
一時配架中のアジア研究図書館の蔵書。ベルリン国立図書館東アジア部日本課から主任研究員のご来訪を受けました。

図書分類を活用する

アジア研究図書館には、〈アジア〉というタームの下に極めて広い地域・時代・分野にわたる資料が集まります。U-PARLでは、アジア研究と図書館双方の専門家が協力し、幅広いアジアの知の全貌を一覧できるような、地域・言語・主題の3つの位相を反映した分類体系を考案し、総合図書館書庫内のスペースで2017年春に始まった一時配架に早くも活用しています。



貴重書の撮影風景（総合図書館所蔵）。撮影した画像をFlickr上で公開しています。



開館に向けて工事が進む4階のアジア研究図書館開架フロア（2018年3月時点のフロアの様子）。東アジアから西アジアまで、数万冊の開架資料が地域別に並ぶ中に、個席と大机が配置され、中央には創建時のデザインを活かした吹抜けと新たなセミナールームができる予定です。セミナールームは小規模イベントに使われるほか、普段は談話コーナーとして、自由な議論の場になります。

東大の〈アジアの知〉を結ぶ

東京大学では文理を問わずさまざまな領域でアジアに関わる優れた研究が行われており、これらを結ぶ「日本・アジアに関する教育研究ネットワーク（ASNET）」などの試みも進んでいます。U-PARLはこれらの動きと連携し、資料の収集と研究を核とする新たな協働の場を拓き、東大内外のアジア研究を結びつけるハブ、ゲートウェイとなるアジア研究図書館を構築したいと考えています。

「知のcommons」を実現する

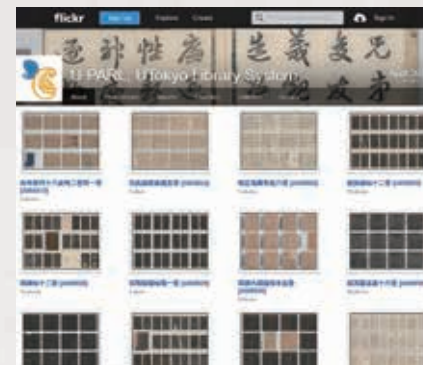
いま大学図書館には、資料が集まるだけでなく、人が集まり交流し、新たな知を生み出す機能が求められています。U-PARLでは、アジア研究を進展させていく「知のcommons」としての図書館をつくるため、さまざまなセミナーやワークショップを開催し、先進的な研究を学び、議論する場を提供するとともに、データベース資料の公開など、研究環境の整備を行っています。



「アジア資料目録作成ワークショップ：オスマントルク語編」。国内各地から多数のライブラリアンや研究者が参加し、有意義な情報交換の場となりました。

デジタル資料とアジアの知を結びつける

新しい図書館には、紙資料とともに電子資料のアーカイブを構築していく新たな役割が求められます。U-PARLでは、地下自動書庫に入る資料のデジタルブラウジングに活用するため書影撮影の実践を進めています。またオープンデータの趨勢を見きわめつつ、U-PARL購入漢籍資料、総合図書館所蔵碑帖拓本資料のデジタル画像を、CCライセンスの条件でFlickr上に公開しました。



東京大学が所蔵する漢籍・碑帖拓本資料の高精細デジタル画像をFlickrで公開しています。
<https://www.flickr.com/photos/asianresearchlibrary/collections>

研究図書館の機能を探る

世界トップレベルの研究図書館では、各研究分野の専門的知識を備えたサブジェクトライブラリアンが蔵書構築を担い、最先端の研究活動を支援しています。アジア研究図書館は、東大のアジア研究をどのような形で支えていくべきでしょうか。U-PARLでは、国内外の研究図書館との交流を通じて、アジア研究の専門人材が図書館において果たすべき役割を探っています。



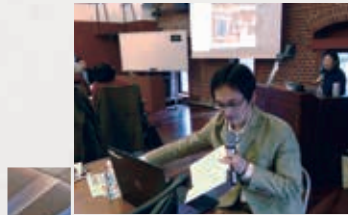
OUTPUT & SHARING



No. 001 「古代エジプトの書記は聖刻文字を書いていた～書記の書いた神官文字を体験する～」



No. 002 「古典籍 on flickr! ～漢籍・法帖を写真サイトでオープンしてみると～」



No. 003 「アジアの言語を語ろう」



アジア研究と図書館のあり方についてインタビューする企画「アジア研究多士済々」。これまでに東京大学の工学系研究科、農学生命科学研究科、総合研究博物館、医学系研究科、アジア生物資源環境研究センター、生産技術研究所、総合文化研究科所属の先生方にご協力いただきました。

U-PARLの研究成果とネットワークを活かし、アジアと図書館について、自由でゆったりとした雰囲気情報共有するトークイベント「アジアライブラリーカフェ」。2017年度は計3回開催しました。



アジア研究文献探索セミナー「日本語と英語で収集する全アジア情報編」。国立国会図書館関西館アジア情報課から講師を招いて開催しました。



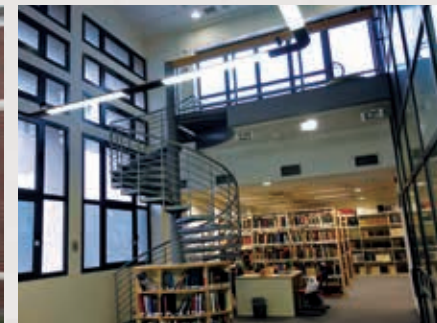
別館地下に建設された自動書庫。ハーバード・イェンチン図書館をはじめ、国内外の図書館から多くの見学者をお迎えしました。



台湾の国立台湾大学、国立政治大学、淡江大学およびタイのコンケン大学との交流



ハーバード・イェンチン図書館（アメリカ）を訪問しました。



ヘブライ大学マウントスコープス・キャンパス、考古学・古代近東文明図書館（イスラエル）を訪問しました。

U-PARLでは日本国内のみならず海外においても、図書館の見学や、資料収集、学会参加を行い、世界のライブラリアンや研究者と交流を深めています。



U-PARLが導入したオンラインリソース。左上から時計回りに、人民日報、申報、中華經典古籍庫



東京大学生協との協力のもと展開しているU-PARLグッズ



アジア研究に関する情報を発信するU-PARLウェブサイト



<http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/>

U-PARL公式ウェブサイト
U-PARLは、その取り組みや、コレクション、イベント、アジア研究に関わるコラムなどのさまざまな情報を発信しています。



@U_PARL
https://twitter.com/u_parl

U-PARL公式ツイッター。イベント等の情報をつぶやいています。





東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



U-PARL



新図書館計画

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門

UEHIRO PROJECT FOR THE ASIAN RESEARCH LIBRARY

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 ph: 03-5841-4043 fax: 03-5841-4074

<http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/>